

資産運用用語の基礎解説

投資スタイル

投資を行う際に基本となる考え方や手法のことを、一般的に「投資スタイル」といいます。運用会社などの法人だけでなく、個人の投資家も投資スタイルを明確しておく必要があります。

投資目的に合った運用商品を選択する際には、投資スタイルに十分に着目することが重要になります。

投資信託においては、一般的にアプローチ方法の違いにより、次のように投資スタイルがグループ分けされます。

<トップダウン型・ボトムアップ型>

「トップダウン型」は、経済状況や産業構造などマクロ環境を分析して、ポートフォリオを決めてから、個別銘柄の選別を行う運用手法です。

これに対して、「ボトムアップ型」は、個

別銘柄の調査・分析を重視して、全体のポートフォリオを組み合わせしていきます。

<アクティブ型・パッシブ型>

「アクティブ型」は、投資のプロであるファンドマネジャーなどによる調査・分析能力を駆使し、ベンチマークを上回る収益を目指して積極的に運用を行うタイプです。

一方「パッシブ型」は、投資収益の比較の目安となるベンチマークを決めて、その指標と連動するような銘柄を選択して運用を行っていきます。

<グロース型・バリュー型>

「グロース型」は、株式市場の平均を上回る成長した銘柄を対象に運用を行います。

「バリュー型」は、現状の価値に比べて割安と思われる銘柄を見つけて運用を行っていく手法です。

図書案内

平成26年度版

社会保険の実務

平成26年度の社会保険の動き

- 協会けんぽの平成26年度の健康保険料率は、前年度料率を据え置き、介護保険料率は引き上げ
- けんぽの高齢受給者の一部負担が2割に引き上げに（新規該当者から）
- 産前産後休業中の健康保険料、厚生年金保険料が免除
- 平成26年度の国民年金保険料は15,250円に
- 平成26年度の年金額は0.7%引き下げ

◆社会保険の適用から健康保険の給付、年金の給付まで◆

- ・ 各種届書の手続きの方法や記載例など、事務担当者の実務に最適な情報を満載！
- ・ 社会保険の適用と標準報酬・標準賞与・算定基礎届・月額変更届の実務など、日常業務に欠かせない社会保険の知識がすべて収録されています。
- ・ 年金の給付・健康保険の給付もわかりやすく解説され、届書の記載例も掲載されていて、これさえあれば初心者マークの実務担当者も安心！頼りになる一冊です。

判型：B5判 144ページ 本文2色刷
定価：本体1,000円+税 送料：200円

